

2015年きのこニュース

木山 加奈子

2015年は、きのこに関する話題が多く見られた年でした。11月1日(日)のミュージアムトークでは、「きのこ四天王」と題して、2015年に収集したきれいなきのこ、あぶないきのこ、おおきいきのこ、そして特徴的なおいのきのこを紹介しました。本稿では、その内容を紹介します。

きれい —ベニテングタケ—

絵本から出てきたようなかわいらしいきのこ。ベニテングタケ *Amanita muscaria* という毒きのこです。シラカバなど、カバノキ属の樹木につくことの多い菌根菌です。当館にはこれまで県外産



の標本しかありませんでしたが、ボランティアのご協力により、奥秩父産の標本を収集することができました。

あぶない —カエントケ—

たいていの毒きのこは、食べなければ害はないといわれていますが、例外があります。それがこのカエントケ *Podostroma cornu-damae* です。

秩父市内で発見されたもので、これもボランティアが提供してくださいました。汁がつくだけで皮膚がただれてしまいます。

当館ツイッターでご紹介したところ、史上2番目のリツイート数に達しました。見つけたときは、観察のみにとどめ、触らないようにお気をつけください。



おおきい —ニオウシメジ—

職員の中で一度は見てみたいきのこだねと話していたニオウシメジ *Macrocybe gigantea*。9月に久喜市で発見されました。報せを受け現地に行ってみると、見たこともない大きさのきのこが!

発見場所である久喜市高柳区の皆様のご協力で収集できました。これだけの大きさ(幅1.2m)なので、採取するのもひと苦労。1時間以上かけて丁寧に掘り起こして、博物館に持ち帰り(全部は車に乗せられず、半分だけ採取しました)、重さを量ってみたところ、4分の1の大きさで25kg。つまり、全体で約100kg。通常、きのこの標本化

(フリーズドライ)は1週間あれば十分なのですが、今回は1か月もかかりました。全てがケタ違いな、巨大きのこでした。



におい —イボセイヨウショウロ(トリュフ)—

こちら是一般の方からのご提供です。イボセイヨウショウロ *Tuber indicum* というトリュフの一種です。ご提供いただいた方曰く、埼玉県産で最大級の大きさだろうということです。直径は約7cm、重さは74.2gもありました。一時的に保管して

いた冷蔵庫が、その後しばらくトリュフの香りでいっぱいになるほどの強い香りでした!



2015年は、博物館に来てくださる皆様のおかげでたくさんの資料を収集することができました。ありがとうございます。不思議な生き物を見かけたら、ぜひ博物館にお知らせください!

(きやま かなこ・学芸員)